

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。



本社工場



(左)代表取締役 阿部 知行さん
(右)第二工場製造課長 皆川 和弘さん

同じ木は無い。それが面白さでもあり難しさでもあります。

木を育て、木を活かす

当社は、地元産杉を主体に建築土木資材を製造しています。庄内は県内でも良質杉材の産地です。製品は住宅をはじめ土木用材などさまざまな用途に使われています。木材の良さは丈夫さと温かさを兼ね備えていることです。そして木造文化として日本人の心に深く刻まれています。

原料となる木材は地元林に加えて社有林から調達し、地産材による製造に特化し、製品は県内、新潟県、宮城県を中心に出荷しています。*JAS認定工場としての品質や納期の安定性はお客さまより信頼を頂いてきました。また製造時に発生する端材、挽屑は全て製紙用、畜産用として利用しています。

創業以来のオーダーメイド対応

原木は、5工程〜6工程で製品になります。住宅1軒で約100種前後の製品が必要となります。どんな注文にも即応し、省エネ型住宅に適応した製品を生産していることは当社の大きな強みです。

当社は昨年創業70周年を迎えました。これからも未来へ「人と森を繋ぐ創造企業」として一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。

※日本農林規格

【企業の概要】

沿革 昭和20年創業、昭和40年株式会社化し現商号となる。
商号 株式会社阿部製材所
資本金 2,000万円
住所 酒田市内条字横枕36 ☎64-2036
代表者 代表取締役 阿部 知行
従業員数 28人
事業内容 建築木材の製造
ホームページ <http://abeseizaisho.com/>



仕上げ工程



製材工程

丸太を柱状に加工しているところです。レールに乗せた原木を移動させ、刃物に押し当てて切断します。

酒田っ子 子育て講座

すくすく

90

イライラするのは母親失格？

東北公益文科大学教授
國眼眞理子 先生

お問い合わせ
子育て支援課 ども支援係
☎26,5735

明るく笑みをたたえ、どんなことにも動じない包容力のある人。理想の母親のイメージといえば、こんな姿でしょうか。でも子育て中の皆さん、そうしたいと思っても、なかなかままならないですよ。

平成28年1月31日に放送されたNHKスペシャル「ママたちが非常事態?!」最新科学で迫る日本の子育て」の内容で、子育て中にイライラしたり、不安になったりするのは誰もが体験することです。子育てに向いていないからではない。オキシトシンというホルモンのせいだということです。このホルモンは母親が心地良いと感じると、わが子やパートナーへの愛情を促進するよう働くのですが、パートナーの非協力的な態度など子育てを妨げる刺激を受けると、イライラを助長するなど相反する働き

をするホルモンなのだそう。2年前、酒田市で就学前の子どもがいる家庭を対象に、子育てに関わる調査をした結果、第1子が3歳〜5歳、いわゆる「イヤイヤ期」のときのイライラ感が際立っていました。まだ子どもが自分の気持ちをコントロールする力が育っていないこの時期、嫌だと思えば物を投げ、大声で泣くなど、大人も「どうすればいいの」と泣きたくなることがあります。こんなとき母親を支えてくれるのは、パートナーや周りの人の何気ない「よくやっているよ」「大変だよ」というねぎらいや一緒に考えようとする姿勢です。大変なときほど「〇〇したら」と助言したくなりますが、何にもまして効果的なのは、母親の気持ちをおくみ取る「聴き手がいる」とことです。